

る彌陀來迎圖などはその一つである。

### 帝室博物館エルミタージユ

露都で博物館として最も名高いものといへば勿論帝室エルミタージユを挙げねばならぬ、皇城冬宮に接して南は長者町通り北は大ネワの河に臨みクラシック風の巍然たる建築は先づ表側の門に於て人を驚かすものがある、通から見上げると幾級かの高い石の階段の上に八基の石柱とそれを背にして屋根なるバルコンを支へて居る十體の巨神とが我が輩の倍もありさうな露人を脚下にして憫れにも小さき人間よと見下して居る、此の博物館は一七六五年女帝カザリン二世の時に冬宮に接して作られた寶物倉が基となつたもので、今も天子の御殿と館とを通ずる橋は残つて居る、其の後一七七五年に増築せられ、更に一八四〇年から一八五二年に亘つてニコラス一世陛下の思召しによつて改築せられたものである、従がつて此の中に藏せられてあるものは長い間にかけて露西亞帝室の尊貴と富力とを以つて蒐集せられた物であつて、其の種類、點數の豊富なこと、また品質の優秀なことは一見したものの、等しく驚嘆する所である。

### 繪畫と貨幣

自分は今此等の陳列品の中の有名なものを數へたてゝ、案内記のまづい焼直しをやりたくはない、たゞ南はエジプト、アスシリヤの遺品から北はシベリヤ地方のものに至る迄、廣くまた豊富に集められたあの驚ろく可き蒐集の